



平成 29 年 4 月 21 日

各 位

会 社 名 新光電気工業株式会社  
代表者名 代表取締役社長 清水 満 晴  
コード番号 6967 東証第 1 部  
問合せ先 コーポレートコミュニケーション室長  
清野 貴博  
TEL(026) 283-1000 (代)

当社の親会社 富士通株式会社  
代表者名 代表取締役社長 田中 達也  
コード番号 6702 東証、名証各第 1 部

## 業績予想の修正に関するお知らせ

業績予想の修正につき、下記のとおりお知らせいたします。

### 記

#### 1. 平成 29 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A) (平成 29 年 1 月 31 日発表)	137,600	1,200	1,700	1,700	12.58
今 回 修 正 予 想 (B)	139,800	3,200	3,400	3,000	22.21
増 減 額 (B-A)	2,200	2,000	1,700	1,300	—
増 減 率 (%)	1.6	166.7	100.0	76.5	—
(ご参考) 前期実績 (平成 28 年 3 月期)	143,453	9,422	10,135	3,476	25.74

#### 2. 修正の理由

半導体市場は、メモリー市場の拡大や自動車向け等の旺盛な需要に牽引された一方で、スマートフォン市場の成長鈍化の影響を受け、また、パソコン市場向けは依然として低調のまま推移しております。

当社におきましては、第 4 四半期において、ハイエンドスマートフォン等向けの IC 組立は、スマートフォン市場の需要変動等の影響を大きく受け、売上が低水準に留まったものの、パソコン市場の低迷継続により売上減少・採算悪化が見込まれたフリップチップタイプパッケージは、サーバー向け等の高付加価値品を中心に需要が底堅く推移し、また、半導体製造装置向けのセラミック静電チャック等が好調に推移しました。これらによる利益の押し上げならびに為替相場が想定に比べ円安基調で推移したことなどにより、特に収益面において想定を上回る見込みとなりました。

このような状況をふまえ、平成 29 年 1 月 31 日に発表いたしました平成 29 年 3 月期通期の連結業績予想数値を修正いたします。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。

実際の業績は、今後さまざまな要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以 上